

令和4年度
第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会
災害安全対策分科会

令和4年12月16日(金)

書面開催

報 告

- (1) 令和4年度 災害安全対策分科会の活動について
- (2) 令和4年度 地域防災拠点訓練実施状況について

令和4年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
委員	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	室井 慶之	事務局長
	栄区小学校長会	山崎 浩一郎	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	松田 肇	飯島中学校校長
事務局		今仁 知宏	栄区副区長
		伏見 和久	栄区総務課長
		芦葉 昇平 武内 秀幸	栄区総務課危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		伊藤 香織	栄消防署総務・予防課予防係長

※敬称略

報告 1

令和 4 年度 災害安全対策分科会の活動について

1 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシを使用した広報を行いました。

- ・区役所窓口での配布
- ・大船駅 PR ボックスでの配架
- ・総務課防災担当の出前講座での配布

2 栄防災ノートを用いた啓発活動

当分科会は、家庭での備えや避難行動の考え方、災害時の情報収集方法などの啓発を目的として、令和 2 年度に栄防災ノートを制作しました。本年度は、第 23 回栄区民まつりの行政等 PR コーナーや保育施設等での出前講座などの機会に配布を行いました。

また、災害時の大きな課題となるトイレ対策の啓発として、トイレパックを購入し、防災ノートと併せて配布しました。

3 地域防災拠点への提案について

「報告 2」参照

4 災害時要援護者支援の課題に向けた取組

各地域で要援護者支援の取組が進むよう、下記取組を実施しました。

- ・栄区内地域防災拠点の運営委員会に向けて、概ね 3 教室を確保した要援護者支援訓練の実施を提言しました。
- ・災害時要援護者避難支援の取組を促進するため、自治会町内会に補助を行いました。
- ・要援護者支援をテーマとした講演会の動画配信や出前講座の実施、リーフレット「災害時要援護者支援ガイド」の配付、希望のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、支援の取組を推進しました。

報告 2

令和 4 年度 地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会では、区内の地域防災拠点での訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進するよう、【参考 1】のとおり訓練実施項目に関する提案を行っています。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながら、各拠点で工夫のなされた訓練が行われています。

【参考 1】 地域防災拠点運営訓練 6 か年計画

年度	実施項目
令和元年度	避難者受付、トイレ対策
令和 2 年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応
令和 3 年度	感染症対策（区割りを含む）、情報受伝達、特設公衆電話
令和 4 年度	要援護者対応、炊き出し
令和 5 年度	学校、企業等との連携・夜間訓練
令和 6 年度	総合訓練の実施

【参考 2】 令和 4 年度地域防災拠点訓練実施拠点及び実施項目（令和 4 年 4 月～令和 4 年 12 月）

拠点名	訓練実施項目（○）					
	避難者 受付	情報 受伝達	特設公衆 電話	要援護者	トイレ 対策	感染症対策 (区割り含む)
千秀小	○	○	○			○
豊田小	○	○		○	○	○
笠間小						○
西本郷中		○		○		
小山台小	○	○			○	○
本郷台小					○	
小菅ヶ谷小	○	○	○			○
桂台小	○	○	○	○	○	○
桂台中	○				○	○
本郷小					○	
上郷小			○			
庄戸小	○	○			○	○
旧庄戸中	○	○			○	○

(補記)

- ・ 訓練実施：13 拠点/20 拠点（12 月 16 日時点）
- ・ 訓練の規模については、運営委員のみで行われるものが中心ですが、一方で住民や生徒も巻き込んで数十名規模の大規模な訓練を行った拠点もありました。（豊田小学校、笠間小学校、小菅ヶ谷小学校など）